

# JA全農 とくしま情報

地域の話題や活動のご報告  
今後のお知らせなど  
JA全農とくしまと、あなたをつなぐ  
コミュニケーション情報誌

2025  
6月号  
No.788



徳島すだち大使に選ばれた佐藤理紗さん、花谷愛子さん、英咲良さん(左から)

## マンスリーレポート 2

- ・第64回全農徳島県本部青果販売総体会議
- ・「徳島すだち大使」決定
- ・第1回果樹部会「すだち・温州みかん園地巡回および情報交換会」
- ・大阪や京都の小学生がサツマイモ「なると金時」の食育学習
- ・主産県合同で料理講習会
- ・徳島インディゴソックスホーム公式戦でPR

## 家族が笑顔で元気になる料理 7

- ・コーンペーストで変身Cooking

## トピックス 8

- ・営農コラム

## 交通安全のお知らせ 8

- ・交差点の安全な通行方法について

# マンスリーレポート

～令和7年度販売計画374億5千万円～

## 第64回全農徳島県本部青果販売総体会議

5月16日、当県本部園芸部は、徳島市万代町の徳島グランヴィリオホテルで「第64回全農徳島県本部青果販売総体会議」を開催しました。

この会議は、徳島県産青果物・花きの生産・流通・販売に携わる関係者が一堂に会して本県農業を取り巻く課題に向き合い、一致団結して生産・販売拡大をめざすことを目的として毎年開催しているもので、64回目となる今回は県下5JA・主要市場・行政機関・関連会社等から約170人が出席しました。

開会にあたり、主催者を代表して佐々木伸夫運営委員会会長が、「生産基盤の維持・拡大や国産農畜産物の販売力強化をすすめるとともに、持続可能な農業の実現、さらには食料安全保障の確保に向けて、全農グループ一丸となって取り組んでまいります」と挨拶を行いました。

また、来賓の後藤田正純徳島県知事、須見一仁徳島県議会議長、松田清見徳島県農業協同組合中央会会長よりご祝辞をいただきました。

本会議では、坂本雅彦県本部長より、園芸部の令和7年度事業計画について次のとおり説明を行いました。

園芸事業の令和7年度販売計画は、市場野菜292億円、市場果実34億円、市場花き・花木9億円、直販加工品39億5千万円の合計374億5千万円の達成に取り組めます。品目別には、にんじん80億円、かんしょ58億円、ブロッコリー32億円、れんこん18億5千万円などを計画しています。

事業戦略としては、パートナー市場40社との連携による有利販売、県本部青果センターの活用による直販拡大、全農荷受システム導入JAの拡大、広域物流拠点整備にかかる検討・協議などに取り組み、「2030年の全農グループのめざす姿」の実現に向けて、園芸バリューチェーンの構築と系統園芸事業の維持・強化をはかります。

続いてのパートナー市場への指定証交付では、令和7年度の指定市場40社（青果重点19社・準15社、花き重点6社）を発表し、代表してセントライ青果株式会社の小坂芳則代表取締役社長が指定証を受け取りました。また、大阪中央青果株式会社の中島啓太代表取締役社長が市場を代表して挨拶を行いました。

続いて、徳島県農林水産総合技術支援センターの伏谷茂所長より、本県の農業振興に向けた取り組みについての情報提供がありました。

最後に村上哲副本部長より、「本県の青果物・花きの販売について、なお一層のご支援ご協力をお願いします」と閉会の挨拶が行われ、盛会のうち終了しました。



主催者を代表してあいさつを行う  
佐々木伸夫運営委員会会長



祝辞を述べられる後藤田正純徳島県知事



市場を代表してあいさつを行う  
大阪中央青果株式会社・中島啓太代表取締役社長



令和7年度事業計画について説明を行う  
坂本雅彦県本部長



指定証を受け取るセントライ青果株式会社・小坂芳則代表取締役社長(右)



第64回全農徳島県本部青果販売総体会議

～徳島県特産すだちの魅力を爽やかにPR!～

## 「徳島すだち大使」決定

5月9日、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は、徳島県JA会館において、徳島すだち大使選考会を行いました。

これは、徳島すだちの需要促進と消費拡大のため、同協議会が県内外で実施する各種宣伝事業の協力者として、徳島県内在住で18歳以上の方を募集したものです。

選考会は、第一次選考(書類審査)を通過した11名が最終面接審査に臨み、すだちの持つ「健康」で「爽やか」なイメージを基準に、坂本会長をはじめ9名の審査員による選考を行いました。

厳正な審査の結果、佐藤理紗(さとう・りさ)さん、花谷愛子(はなたに・あいこ)さん、英咲良(はなぶさ・さくら)さんの3名が「徳島すだち大使」に選ばれました。

佐藤さんは「母親が前身のすだちレディを務めていたので、親子2代で徳島すだちの良さを伝えたい」、花谷さんは「大好きな徳島とすだちを全力でPRしたい」、英さんは「長年続けている新体操を活かして、すだちくんと一緒にダンスでアピールしたい」と笑顔で抱負を話しました。

徳島すだち大使の任期は令和7年(2025年)6月からの2年間となっており、今後、県内外各地のイベントや各種メディアなどで徳島すだちをPRする予定です。



9名の審査員と記念撮影



選考会当日の様子はJA全農とくしまYouTubeチャンネルで配信していますので、是非ご覧ください。



選考会委員長の坂本会長によるあいさつ



徳島すだち大使選考会の様子



任命式の様子



坂本会長と阿波踊りポーズ

# マンスリーレポート

～産地と情報交換し効果的な果樹生産へ～

## 第1回果樹部会「すだち・温州みかん園地巡回および情報交換会」

5月14日、徳島県農業技術普及連絡協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は、県下3JA(徳島市・東とくしま・徳島県)の担当者、徳島県、当県本部など関係者26名出席のもと、令和7年度第1回果樹部会「すだち・温州みかん園地巡回および情報交換会」を開催しました。

本協議会では、県内果樹の生産振興や関係機関との情報共有、栽培技術向上を目的に果樹部会を年3～4回開催しています。

第1回目の今回は、出席者全員で神山町と佐那河内村のすだち園、勝浦町の温州みかん園を巡回し、着花調査や生育状況の確認を行いました。

園地巡回後、勝浦町のかんきつテラス徳島で開催した情報交換会では、JA担当者や支援センターより各園地の状況について報告がありました。続いて「すだちの連年安定生産技術の実証」や「すだちの面積拡大、省力栽培をめざした水田跡地への新植」、「ハウスすだち加温開始時期の早期決定法」について試験結果発表があり、活発な意見交換が行われました。

また、今年の害虫発生状況や、営農支援課の森聡技術主管からは、令和7年度の試験課題としてすだちや新しい柿品種「太豊」、うめの安定生産に向けた取り組み等について説明がありました。

最後に、当県本部営農資材部の吉本和正専任次長から「本日の果樹部会で学んだことを今後の指導に活かしてください」とあいさつがあり、第1回果樹部会を閉会しました。



情報交換会の様子



閉会のあいさつをする営農資材部・吉本和正専任次長



園地を視察する関係者

JA・農協指定、全農取引業者

(株)大塚シロアリ研究所



〒779-3105 徳島市国府町東高輪375の3

☎(088) 643-0666

～栽培体験を通して食の大切さを伝える～

## 大阪や京都の小学生がサツマイモ「なると金時」の食育学習

当県本部園芸部は、子供たちに農産物を育てる大変さと喜び、また食べ物を大切に作る心や農家生産者の方々を思いやる気持ちを育んでもらうため、県内JAをはじめ、パートナー市場や関係機関と連携し定期的に小学校での栽培学習会を実施しています。

5月には、京阪神の小学校5校にJA里浦からなると金時の苗を提供し「サツマイモ食育学習会」を開催しました。各小学校の生徒は、JA、市場、県、本会の職員から、なると金時の特徴や苗の植え方、上手な育て方についての講義を受けたり、実際に圃場に出て定植作業を体験しました。

生徒たちは動画やクイズを交えた授業にとっても興味を示し、楽しく植え付けを学び、食育を体験しました。



◆**大阪市立岸里小学校** 5月15日、JA里浦、大果大阪青果株式会社、徳島県関西本部協力のもと、大阪市西成区の市立岸里小学校の2年生53名を対象に開催しました。

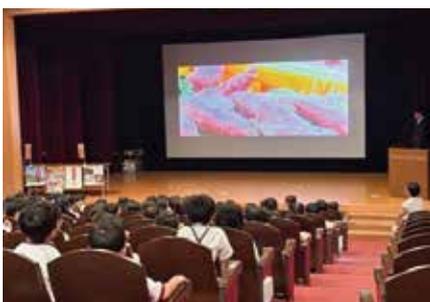
◆**大阪市立塩草立葉小学校** 5月19日、JA里浦、大果大阪青果株式会社、徳島県関西本部協力のもと、大阪市西成区の市立塩草立葉小学校の2年生87名を対象に開催しました。

◆**大阪市立焼野小学校** 5月19日、JA里浦、大果大阪青果株式会社、徳島県関西本部協力のもと、大阪市鶴見区の市立焼野小学校の2年生58名を対象に開催しました。



◆**京都市立嵐山東小学校** 5月22日、JA里浦、京都青果合同株式会社、徳島県関西本部協力のもと、京都市西京区の市立嵐山東小学校の2年生41名を対象に開催しました。

◆**立命館小学校** 5月23日、JA里浦、京都青果合同株式会社、徳島県関西本部協力のもと、京都市北区の立命館小学校の2年生120名を対象に開催しました。



# マンスリーレポート

～甘酢漬けやサラダでらっきょうのPR～

## 主産県合同で料理講習会

5月9日、当県本部園芸部大阪事務所は、JA全農とっとり、JA高知県、JA鹿児島県経済連と協力し、大阪市中央卸売市場本場・業務管理棟内の調理室でらっきょう主産県合同PRおよび料理講習会を開催しました。

この取り組みは、市場と仲卸の担当者を対象に、主産県が一体となって産地の生産状況や漬け方、調理方法を周知し、今後の商談・販売に活かしてもらうことを目的としており、当日は25名が参加しました。

最初に各産地の担当者が栽培地域やらっきょうの特色などの説明をおこない、当県本部園芸部の前田凌職員は徳島県の「鳴門らっきょ」について「徳島県で最も大きい島である『大毛島』で栽培しています。鳴門海峡に面した大毛島では、ミネラルを豊富に含んだ海砂で栽培しており、色白で食感の良いところが特徴です」と説明しました。

続いて、参加者はJA鹿児島県経済連の古垣舞華講師が実演した「らっきょうの簡単漬け」を見て学んだり、各県担当者が提案したらっきょうを使用した簡単料理「ホイル焼き(鹿児島県)」「焼らっきょう(鳥取県)」「酢の物(高知県)」を実際に調理し試食を行いました。徳島県からは「タルタルソース」を提案し、大阪事務所の塩崎利江子職員が調理を指導しました。

参加した市場担当者からは「甘酢漬けは簡単なので、家でも作ります」「らっきょうは少し苦手でしたが、色んな料理に使えて美味しく食べられることがわかりました」といった声が聞かれました。

当県本部園芸部は、今後も他県と協力しながら、徳島県産「鳴門らっきょ」の消費拡大に努めてまいります。

※「鳴門らっきょ」は地域団体商標(商標登録第5155666号)です。



あいさつをする大阪事務所・小出達也所長



らっきょうのタルタルソースを調理



～徳島県産野菜の消費宣伝～

## 徳島インディゴソックス ホーム公式戦でPR

5月5日、徳島県と徳島県農産物消費拡大協議会(会長＝坂本雅彦県本部長)は、徳島市のむつみスタジアム(蔵本公園野球場)で開催された四国アイランドリーグPlus2025公式戦「徳島インディゴソックス vs 香川オリーブガイナーズ」において、徳島県産野菜の消費宣伝を行いました。

この日は徳島県民応援デーということもあり、たくさんの親子連れなどが来場しました。開場時刻の16時から当県本部園芸販売課の柿沼秀爾職員が入場ゲートで野菜セット(ブロッコリー、しいたけ、きゅうり)を先着100人に配布しPRしました。

試合前セレモニーでは、志田敏郎徳島県副知事のあいさつに続いて、柿沼職員が両チームに県産野菜(ブロッコリー60株、しいたけ60袋、きゅうり60本、カリフラワー30個、ミニトマト60パック)を贈呈しました。

なお、試合は徳島インディゴソックスが10-3で勝利を飾りました。



両軍代表選手へ県産野菜を贈呈



観客に県産野菜のPRをする柿沼職員

家族が笑顔で  
元気になる料理



## 旬野菜×発酵調味料

野菜ソムリエ・麺料理研究家の  
武岡泰子先生が徳島県の美味しい  
野菜レシピを紹介します!



# フーズパーストで変身Cooking

## フーズパースト

### 材料(1本分)

- とうもろこし(実)… 1本分(約150g)
- (芯)… 1本分
- 塩麹…………… 大さじ1(15g)
- 水…………… 150cc

1対0.1対1

### 作り方

- とうもろこしは、実をそぎ切る。  
芯は半分に折る。  
*※従にそぎと切りやすい*
- 鍋に材料を全て入れ、加熱。(中火)
- 沸いたら弱火にし、煮詰める。(20-25分)
- 水分が底に少し残る位になったら  
火から下ろし、芯を除く。  
*裏ごしするとなめらかに*
- ブレンダーなどでペースト状にする。  
*使いたいの*

- 半量の牛乳と混ぜてスープに
- つぶしたジャガイモと合わせてコロケに



冷蔵 3-4日、冷凍 2週間  
保存できますよ

## 変身その1

### フーズなパンネ

濃フーズパースト

### 材料(1~2人分)

- フーズパースト …… 80g
- パンネ …… 80g  
(マカロニでも)
- オリーブオイル …… 適宜  
(せりみで) コショウ、カレー粉



### 作り方

- パンネをゆでる。  
(1Lの湯に塩10gを。)
- ザルに上げ、オリーブオイルを  
まぶす。(くっつきにくくなる)
- フーズパーストをからめたら  
できあがり



仕上げにコショウやカレー粉を  
ひと振りすると、ひきしまり好吃



## 変身その2

### フーズフォンデュ



フーズパーストの初めて!

### 材料(2人分)

- フーズパースト …… 100g
- ★ 牛乳(豆乳でも) …… 30cc(大さじ2)
- ヒザ用チーズ …… 30g
- バケット …… 適量
- お好みの野菜 …… 〃



### 作り方

- バケットは食べやすく切り、焼く。  
野菜は10大に切り、  
オープンシートで包む。  
*野菜はゆでてOK*
- 耐熱容器に、★を入れて混ぜる。
- フライパンに2cm位水を張り、②と  
野菜を並べ、フタをして蒸す。(中強火)
- 野菜に火が通り、②はふっふつと  
気泡が出てきたら できあがり



バケットやお野菜に、フォンデュを  
からめてお召上がりください

野菜ソムリエ・麺料理研究家 武岡泰子

[https://www.instagram.com/yachting\\_1226/](https://www.instagram.com/yachting_1226/)

◎4姉妹の母です。心も体も元気になるごはんを毎月紹介します!  
◎資格:野菜ソムリエ、薬膳マイスター、食育インストラクター、  
フィットネスクラブアドバイザー(ハーブや精油で不調を整える予防医学)  
◎活動歴:すだち料理研究家、すだちSUMリエ(自称)として、  
ヴォルティスのドレッシングレシピ考案や県のイベントですだち果汁のPR/  
麺料理研究家/料理教室「和Meshiのスズメ」主宰  
/講師 高校でのエシカルクッキング/カルチャースクール エミール講師/NHK「ギュッと!四国」、テレビ朝日「食彩の王国」出演

「お米の収量が以前より減つとるなあ」、「今年も異常気象だったけん仕方ない」、「昔は一等米ばかりだったのに」そう思っている農家の方も大勢いらっしゃるでしょう。近年は春の低温、夏の異常高温や大型台風による天候被害が毎年のように発生しており、予期せぬ時期の大雨、長雨等が水稻の作柄に影響する事例も増えています。

昔から、水管理は稲作の基本中の基本とされています。生育ステージごとに特徴的な水管理方法は、稲を健全に保つとともに、多少の気象変動にも耐えることができる強い稲をつくるための手法ばかりです。

そこで今回は水管理方法について、それぞれの役割と基本的な方法を紹介します。これを機に稲作の基本に立ち返り、水管理方法を徹底することで少しでも良いお米を少しでも多くとってみませんか。

#### ①移植直後～活着期：深水で苗痛みを防ぎ、活着を促す！

稚苗移植では、田植後の植傷みを防ぎ、保温効果を高めるため、やや深水とします。また、温かい日中は、浅水にして地温を高めて発根を促します。しかし、低温時の浅水や落水はかえって地温を低くするので避けてください。

#### ②活着後～分けつ期：浅水と間断かん水で分けつを促し、

#### 早く有効茎を確保する！

浅水管理により水温、地温の上昇に努め、初期生育の促進をはかってください。また、浅水管理はジャンボタニシ対策にもなります。さらに、ガスの発生による根痛みを軽減するため、定期的な間断かん水も効果的です。

#### ③中干し：稲作後半の成功に欠かせない！

中干しの開始時期は分けつ数が目標穂数に近づいた時期が適切です。約20本が目安です。期間は一般に5～7日程度。田面に亀裂ができ、足を踏み入れても沈み込まず、足型が残る程度の硬さになるまで継続します。中干しの効果は、「稲にストレスを与えて無効分けつを抑制するとともに倒伏に強い草姿にする」、「亀裂により通水性を確保し、以後に健全な根を多く、長く保つことができる良好な土壌状態にする」、「機械収穫に必要な地耐力を確保し、その分収穫前の落水を遅らせる」など多岐にわたり、最も重要な水管理といっても過言ではありません。

異常高温や長雨などの気象災害を避けることはできませんが、これに備えることで被害を最小限に抑えることができます。今回紹介した基本的水管理を徹底し、気象災害に強い稲をつくりましょう。



## 交通安全のお知らせ

### 交差点の安全な通行方法について

交差点は、人や車が集中するため、交通事故が多い場所です。また、交差点での交通事故は加害者だけでなく、被害者にも交通違反が認められるケースが多いので、特に注意を払い、交通事故や交通違反のないように安全運転を心がけましょう。

#### 交差点における正しい右左折の方法

##### ○左折の方法【道路交通法第34条第1項】

車両は、左折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の左側端に寄り、かつ、できる限り道路の左側端に沿って徐行しなければいけません。

##### ○右折の方法【道路交通法第34条第2項】

自動車等は、右折するときは、あらかじめその前からできる限り道路の中央に寄り、交差点の中心の直近の内側を徐行しなければいけません。

##### ○直進車等の優先【道路交通法第37条】

車両等は、交差点で右折する場合において、対向直進車や左折しようとする車両等があるときは、その車両等の進行妨害をしてはいけません。

##### ○合図の時期及び方法【道路交通法施行令第21条】

右左折しようとする地点または交差点の30m手前の地点に達したときに合図を出さなければいけません。(進路変更をする時はその行為をしようとする時の3秒前に合図を出してください。)



一例ですが、交差点では右折時の直進車優先や歩行者保護、渋滞交差点へは進行しない等、他者(車)への思いやり運転がマナー向上に繋がります。車の運転者は交通弱者を守れるよう、安全運転をお願いします。

徳島県警察本部 交通企画課



## ～すだち大使 2年間の活動を振り返って～ ★2023年6月～2025年5月★



平石 静香さん

すだち大使の2年間の活動は長いようであっという間でした。県内外で、すだちや特産物のPR活動など、今までしたことのないことをたくさん経験することができました。

すだち大使の活動を通して、まだまだすだちや徳島について知らない方がたくさんいらっしゃることに気づきました。そんな中で1人でも多くの方に徳島の魅力を知っていただけたのは嬉しかったです。またたくさんの方と関わることができて良かったです。すだちも徳島も今まで以上にもっと好きになることができました。



中川 かりんさん

あっという間の2年間でした。コロナ禍が明けたばかりで無くなってしまったイベントもありましたが、テレビやラジオなど普通では出来ない貴重な経験ができました。

また、メディアで知って下さった方が実際にイベントで会いに来てくれた時はとても嬉しかったですね。「すだち」を通して沢山の人の温かさに触られました。

短い時間でしたが、本当に楽しかったです。ありがとうございました。



桧 妃菜さん

2年間ありがとうございました! 思い返せば徳島県内のみならず、東京大阪京都など大都市圏でもすだちの魅力をPRすることができ、とても良い経験となりました。

中でも印象的だったのは、各イベント会場ですだちの試食をお渡りする機会が多いのですが、みなさん「あ! 徳島のすだちだ!!」と言ってとても喜んで受け取ってくださったことです。私自身も大使の活動を行っていくなかで、すだち、そして徳島がより好きになりました。



～踊り渦巻く！阿波・とくしまシリーズ～

## NPB2軍「ウエスタン・リーグ」公式戦で県産農産物をPR!

徳島県は、プロスポーツに触れる機会として、また、スポーツ文化の普及やスポーツレベルの向上を図ることを目的として、関係団体とともに「徳島県NPB開催実行委員会」を昨年8月に設立しました。

5月31日と6月1日の両日、「オリックス・バファローズ vs 福岡ソフトバンクホークス」が開催され、すだち大使や当県本部園芸販売課職員が、来場者に徳島県産農産物をPRしました。

5月31日は、徳島県すだち・ゆこう消費推進協議会(会長＝坂本雅彦県本部)が、阿南市のJAアグリあなんスタジアム(徳島県南部健康運動公園野球場)で徳島すだちの消費宣伝を行いました。

開場後の11時30分から、すだち大使の桜妃菜さんが「でり・ぱりキッチン 阿波ふうど号」で、すだち寒天クラッシュジュースの試食配布を行い、たくさんの来場者が詰めかけていました。また試合前セレモニーでは阿波踊りが行われた後、桜さんが観客に徳島すだちをPRしたり、両軍代表選手へ徳島すだちと県産飲料「ずすだち」を贈呈しました。

6月1日は、徳島県農産物消費拡大協議会(会長＝坂本県本部長)が、徳島市のむつみスタジアム(蔵本公園野球場)で徳島県産農産物の消費宣伝を行いました。

当県本部園芸販売課の飯田旺輝職員が、試合前セレモニーで来場者に「トウモロコシ」と「ナス」について紹介したり、両軍代表選手へ県産ナス60袋、トウモロコシ60本を贈呈しました。



両軍代表選手へ県産野菜を贈呈



両軍代表選手へ徳島すだちと県産飲料「ずすだち」を贈呈



すだち寒天クラッシュジュースの試食配布を行う桜さん



観客に徳島すだちをPRする桜さん



観客に県産野菜のPRをする飯田職員



爽やかな「すだち寒天クラッシュジュース」

～徳島県産農産物と飲料を販売～

## 2025四国放送まつり

5月31日と6月1日の2日間、当県本部は、板野郡板野町のあすたむらんど徳島で開催された「2025四国放送まつり」にブース出店し、徳島県産農産物と県産飲料の販売を行いました。

このイベントは、平成12年(2000年)から続く地元放送局主催のライブイベントで、今年も2日間にわたって有名アーティストが出演した他、ラジオの公開生放送やトークショー、物販などが行われました。

当県本部のブースでは、園芸販売課の職員がブロッコリーやなす、生しいたけ、ミニトマトなどの県産農産物や、県産飲料「ザすだち」「すだち微炭酸」の販売をおこない、「野菜が新鮮で安い!」とたくさんのお客様から人気を集めました。

また、1日目は四国放送テレビ番組「ゴジカル」の中継で、すだち大使の平石静香さんがブースの紹介と県産農産物のPRをおこないました。両日とも天気に恵まれ多くの来場者で賑わいました。



四国放送テレビ「ゴジカル」でインタビューに答えるすだち大使の平石さん



県産飲料(ザすだち、徳島すだち微炭酸)やブロッコリー、なす、生しいたけ、ミニトマトを販売



当県本部ブース



暑かったのですだち飲料が大人気!



## JAタウン「新鮮大好き徳島」今月のおすすめ



半田手延べそうめん「阿波の糸」細麺3kg(化粧木箱入り)



今年もそうめんの季節が近づいてきました!  
当サイトでは、美馬市つるぎ町の特産品「半田手延べそうめん(細麺タイプ)」と「半田手延べ干しめん(太麺タイプ)」を取り揃えています。コシの強さと、良質の小麦本来のモチモチした食感が特徴です。

全国送料込み・消費税込みの価格でご提供しています。贈り物にもぜひご利用ください!



JAタウン「新鮮大好き徳島」  
<https://www.ja-town.com/shop/c/c7001/>

新鮮大好き徳島

検索



おいしい日本と暮らそう。



JAタウンオフィシャルサポーター

あきもと まなつ  
秋元 真夏

JAタウンが提供する  
YouTube番組

ゆるふわ  
たいむ  
週2回配信!

JAタウンは  
コチラ



JAタウンは、全国農業協同組合連合会(JA全農)が運営する産地直送通販サイトです。「おいしい日本と暮らそう。」をテーマに、「JAタウン」に出店する全国の農協(JA)などが、各産地で育まれた旬の農畜産物や特産品を、インターネットを通じてお客さまに直接お届けし、食を通じて豊かな暮らしの実現を目指しています。



JAタウン  
「新鮮大好き徳島」



JA全農とくしま  
YouTubeチャンネル



JA全農とくしま  
Instagram



JA全農とくしま  
ホームページ

全農グループ経営理念

私たち全農グループは、生産者と消費者を  
安心で結ぶ懸け橋 になります。

私たちは「安心」を3つの視点で考えます。

- 営農と生活を支援し、元気な産地づくりに取り組みます。
- 安全で新鮮な国産農畜産物を消費者にお届けします。
- 地球の環境保全に積極的に取り組みます。

全農

JA全農とくしま

<https://www.zennoh.or.jp/tm/>



「JA全農とくしま情報」に関するお問い合わせ先

本紙「JA全農とくしま情報」の購読料・配送料は無料です。送付先の氏名・住所変更や、送付の停止につきましては、JA全農とくしま企画管理課広報室(電話 088-634-2462)までご連絡ください。

